

# 丸山眞男文庫の整理・公開 ―二〇一一年四月以降の進展と展望

平石 直昭・佐藤 美奈子

丸山眞男文庫資料の整理・公開については、二〇一一年三月までの作業の概要を、『東京女子大学比較文化研究所附置丸山眞男記念比較思想研究センター報告』創刊号から第七号までの各号に掲載しました。今号では、その後をうけて、二〇一二年三月までに行われた作業の要点と展望を記します。

## I 資料の公開

丸山文庫は、二〇一一年七月に、所蔵閉架資料の追加公開を行ないました。新たに公開したのは、草稿類の一部（分類大項目第十部から第十五部まで）約七〇〇件です。今回の公開で、丸山文庫に所蔵されている草稿類は全てが公開されたこととなります（ただし、プライバシーなどの理由から非公開と判断されたものを除く）。

## II 取材・記事掲載と利用状況

①記事掲載 朝日新聞出版社より取材を受けました。その結果、二〇一一年六月に発行された『東京女子大学 by AREA』に紹介記事が掲載されました。

②利用状況 今年度、丸山文庫へは、のべ三十四人が閲覧に訪れました。昨年度の利用者が八人であったことと比較すると、利用者が大幅に増加したことが分かります。

③その他 東京大学大学院情報学環より要請を受け、二〇一一年一月二十六日に開催されたシンポジウム「研究者資料のアーカイブズ―知の遺産 その継承に向けて―」にて、文庫顧問の平石直昭教授（帝京大学）が「草稿資料の整理・保存・供用をめぐる諸問題―東京女子大学丸山文庫の経験から―」と題した講演を行いました。なお、その際の前稿を本号に掲載してあります。

## III 資料の整理

①草稿類 所在不明資料の確認や図書・雑誌等の抜き取りなど、資料の総点検を行いました。また新たにPDF化すべき資料を選び、PDFファイルを作成するとともに、各資料のタイトルをOPACで検索しやすいものに変更しました。

②雑誌 前年度に富士ゼロックスシステムサービス株式会社に作成を依頼したPDFの検収を行ない、公開の準備を整えました。

③書籍 丸山眞男論に関する情報を収集し、図書館に所蔵するように依頼しました。

④楽譜 土合文夫教授（東京女子大学）が一年半にわたって調査を行ない、すべての楽譜にグレードを付けてくださいました。また土合教授は、重要な書き込みについて書き込み箇所や書き込みの性質についてのメモも作成してくださいました。この貴重な調査結果について先生御自身が書かれた報告は、『東京女子大学比較文化研究所 附置丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第七号に掲載されています。

⑤抜刷 保存対象とする抜刷を選定するなど、整理を進めました。また、閲覧者用の抜刷リストを作成しました。

⑥音声資料 内容をチェックし、公開できるか検討しました。また、公開に向けてファイルを整える作業を行いました。

⑦書簡 丸山家から既に寄贈された大量の書簡のほかに、資料整理作業の中で新たに発見された来簡を、発信者順に整理しました。更に将来の公開に備え、どのような作業がどの程度必要かの見通しをつけ、資料的価値のある書簡がどの程度含まれているかの予備調査を開始しました。

#### IV 今後の展望

①草稿類 資料の総点検、タイトルの再検討と追加のPDF化作業を継続します。

②雑誌 二〇一二年一度初め（五月）にすべて公開する予定です。

③書籍 新たに発行された丸山論掲載の書籍・雑誌を系統的に蒐集できるように情報を集める予定です。

④楽譜 土合教授の調査結果をもとに、どのような形で公開するかについて検討を進める予定です。

⑤抜刷 閲覧者用の抜刷リストを完成し、閲覧者が利用できるようにする予定です。

⑥音声資料 閲覧に供するためにデータの加工を行なう予定です。

⑦書簡 新たに発見された来簡の整理を完了する予定です。また、将来的に公開の対象とすべき書簡の選定作業に着手する予定です。